

算数オンライン塾 5月27日の問題 解説

(1) A を考えると、ACF、AHC、AHF の3つがあります。
頂点は8つありますが、1つの三角形を3通りに数えています。
ACF は A のとき、C のとき、F のときと3回です。

$$3 \times 8 \div 3 = 8$$

(答え) 8通り

(2) 選んだ3点が立方体の面である同じ正方形上にあるときです。
この立方体には6面ありますが、1つの面を選ぶのは4通りあるので、
 $4 \times 6 = 24$ 通り

(答え) 24通り